

仙台市立作並小学校



# 校長室だより

第3号

やさしい子  
かしこい子  
たくましい子

平成29年6月23日

## 命を大切に学習に取り組んでいます。

梅雨の候となりましたが、作並小学校の子供たちは元気いっぱいです。休み時間になると、校庭や体育館でおにごっこやドッジボールを楽しんでいます。昨年から続けている全校遊びの効果が見られ、体力運動能力が大きく向上しています。先日の運動能力テストでも、昨年の記録を更新して意欲的に取り組む子供たちの姿が見られました。

さて、仙台市内の小中学校では、「命を大切に学習する教育」に取り組んでいます。命を大切にすること、いじめをなくして友達を大切にすることなどを道徳や特別活動の時間に学習しています。

1・2年生では、絵本の読み聞かせをしました。「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」や「あかちゃんてね」等の本をから、命がずーとつながっていることや、自分たちも赤ちゃんから成長してきたことに気付くことができました。



3・4年生の教室には、「ちょっといいことの木」が掲示されています。自分ができたこと、友達ができるようになってうれしかったこと、誰かに親切にされてうれしかったことなどが木の实になっています。これからもいいことがいっぱい見付けられるとうれしいですね。

5・6年生では、自分らしさや友達の良いところを見付ける学習に取り組みました。友達から、自分の良さを伝えられてうれしそうなお子たちの表情が印象的でした。

6月22日には、1～4年生がヤマメの放流を行いました。ニッカウキスキー仙台工場さんのご厚意で37年間続いています。今年は天候に恵まれ、清流新川川に8000匹の稚魚を放流しました。子供たちは、バケツに入れてもらったヤマメを川にそっと流してやりながら、「おおきくなってね」「元気でね」と声を掛けていました。最後に「ヤマメが元気に泳いでいってよかったです」などの感想を発表していました。自然のすばらしさと命の大切さを学んだ子供たちでした。

6月23日の一日授業参観では、3時間目に全学年で道徳の授業を行います。ぜひ、参観いただきご家庭でも話題にさせていただきたいと思います。

